

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-301096

(43)公開日 平成6年(1994)10月28日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 3 B 17/16		7513-2K		
	17/12	Z 7513-2K		
H 0 4 N 5/225		F		
	5/232	E		

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-89700

(22)出願日 平成5年(1993)4月16日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 新保 市弘

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

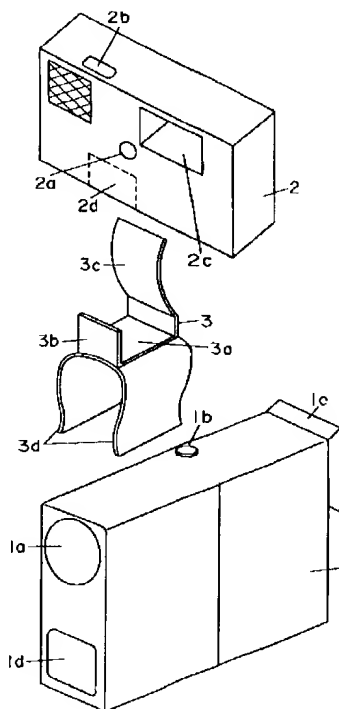
(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 ビデオカメラ

(57)【要約】

【目的】 本発明は、非常に簡単な構成により、ビデオ撮影中でも、簡単に写真撮影が行えるビデオカメラを提供することを目的とする。

【構成】 本発明のビデオカメラは、レンズ付きフィルム2を位置決め保持するためのアダプター3と、レンズ付きフィルム2の一端面を押圧して挟持するための弾性片3cとを有し、アダプター3にレンズ付きフィルム2を所定位置に装着するとともに、ビデオカメラ本体1にアダプター3を所定位置に装着することにより、レンズ付きフィルム2の光軸とビデオカメラの光軸とがほぼ平行となるように構成されている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ビデオカメラ本体に着脱自在に設けられ、レンズ付きフィルムを位置決め保持するためのアダプターと、前記アダプターに設けられ前記レンズ付きフィルムの一端面を押圧して挟持するための弾性片とを備え、前記アダプターに前記レンズ付きフィルムを所定位置に装着するとともに、前記ビデオカメラ本体に前記アダプターを所定位置に装着することにより、前記レンズ付きフィルムの光軸と前記ビデオカメラの光軸とがほぼ平行となるように構成されたことを特徴とするビデオカメラ。

【請求項2】 レンズ付きフィルムをアダプターの所定位置に装着した際に、前記レンズ付きフィルムのシャッター部が前記アダプターのほぼ真上近傍に来ることを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【請求項3】 ビデオカメラ本体へのアダプターの装着は、前記アダプターの下部に設けられるとともに、前記ビデオカメラ本体の外観形状に添って設けられた弾性を有する略U字状の脚部が、前記ビデオカメラ本体を挟持することにより行われることを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【請求項4】 ビデオカメラ本体へのアダプターの装着は、前記アダプターの下面と前記ビデオカメラ本体上面とを両面接着テープにより係合させることにより行われることを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【請求項5】 レンズ付きフィルムの表面に、このレンズ付きフィルムとアダプターとが所定の関係で当接する位置を示す目印を付したことを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【請求項6】 ビデオカメラの画角をレンズ付きフィルムの画角よりも狭くなるように設定したことを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【請求項7】 ビデオカメラ本体に着脱自在に設けられ、レンズ付きフィルムを位置決め保持するためのビデオカメラ用アダプターであって、前記レンズ付きフィルムの一端面を押圧して挟持するための弾性片を有し、前記レンズ付きフィルムを所定位置に装着するとともに、前記ビデオカメラ本体の所定位置に装着した際に、前記レンズ付きフィルムの光軸と前記ビデオカメラの光軸とをほぼ平行にさせることを特徴とするビデオカメラ用アダプター。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ビデオカメラ（カメラ一体型VTR）に関するものであり、特に簡単な構成でビデオ撮影時に、必要に応じて写真撮影を可能にするものである。

【0002】

【従来の技術】近年、ビデオカメラは大幅な小型軽量化が図られており、その持ち運びが非常に手軽になったた

2

め、ビデオ撮影の機会が非常に増えてきている。

【0003】ところが、場面によっては、ビデオ映像としてではなく写真として残しておきたい場合も多々あり、写真撮影用のカメラも依然として欠かせないものとなっている。

【0004】しかし、ビデオカメラ及び写真撮影用のカメラの両方を持ち運ぼうとすると、ともにコンパクトになったとはいえ非常に荷物になるため、その選択はユーザーにとって非常に悩みの種であった。

【0005】近年の傾向としては、安価なレンズ付きフィルム（使いきりカメラ）が非常に普及し、どこでも簡単に入手できるとともに、画質もそこそこ満足できるものになってきているので、わざわざ現地まで写真撮影用のカメラを持参しないで、ビデオカメラだけを持参して、この手軽なレンズ付きフィルムを現地で入手して利用するユーザーが増え始めている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来はビデオ撮影を行っている最中に、あるシーンの写真撮影も行おうとすると、同時に行うことはほとんど不可能に近く、またビデオカメラを写真撮影用のカメラに持ち換える必要があるため、シャッターチャンスを逃すことが、非常に多かった。

【0007】本発明は、上記課題を解決するものであり、非常に簡単な構成により、ビデオ撮影中でも、簡単に写真撮影が行えるビデオカメラを提供することを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のビデオカメラは、レンズ付きフィルムを位置決め保持するためのアダプターと、レンズ付きフィルムの一端面を押圧して挟持するための弾性片とを備え、アダプターにレンズ付きフィルムを所定位置に装着するとともに、ビデオカメラ本体にアダプターを所定位置に装着することにより、レンズ付きフィルムの光軸とビデオカメラの光軸とがほぼ平行になるように構成されている。

【0009】

【作用】この構成により、本発明のビデオカメラは、レンズ付きフィルムをアダプターにより確実に保持できるとともに、アダプターをビデオカメラ本体の所定位置に装着するだけで、ビデオカメラとレンズ付きフィルムとの光軸をほぼ平行にすることができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明のビデオカメラの一実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0011】図1は本実施例の外観構成を示す分解斜視図である。図において、1はビデオカメラ本体であり、大きさ及び形状は本実施例に限定されるものではなく、録画機能を有するものであれば、本発明の技術思想は全

ての機種に適用可能なものである。なお、ビデオカメラ本体1はレンズ部1a、録画ボタン1b、ファインダー1c、マイク1d等から成っている。

【0012】2はレンズ付きフィルムであり、レンズ部2a、シャッター2b、ファインダー2c等から構成されている。なお、レンズ付きフィルム2は、各社から市販されているものが適用可能である。

【0013】3はアダプターであり、プラスチック等の合成樹脂で一体成形されており、載置部3a、突起部3b、弾性片3c、U字状脚部3dから構成されている。

【0014】すなわち、載置部3aは、レンズ付きフィルム2を載せるための台であり、レンズ付きフィルム2の大きさが各社により少しずつ異なるので、少し大きめに構成されている。突起部3bは、レンズ付きフィルム2の前面と当接するものであり、レンズ部2aの近傍を覆わない程度に突出している。弾性片3cは、レンズ付きフィルム2を後面から押圧し、突起部3bとて挟持することによりレンズ付きフィルム2を確実に保持するためのものであり、レンズ付きフィルム2の多少の大きさの差異はこの弾性片3cにより吸収されるものである。

U字状脚部3dは、アダプター3を確実にビデオカメラ本体1の上部に固定させるものであり、ビデオカメラ本体1上部の外観形状に沿った形状に形成されとともに、より確実に保持するためある程度の弾性を有している。なお、ビデオカメラ本体1上部の外観形状が複雑でU字状脚部3dではしっかりと固定できないものも存在するので、その場合はビデオカメラ本体1上部の平面部分を利用してU字状脚部3dに代えて両面接着テープ等によりアダプター3の固定を確実に行えばよい。

【0015】ここで、アダプター3は、レンズ付きフィルム2をアダプター3の所定位置に装着し、ビデオカメラ本体1の所定位置に装着した際に、丁度シャッター2bの位置が載置部3aのほぼ真上近傍にくるように設計されているとともに、レンズ付きフィルム2およびビデオカメラ本体1のレンズ系の光軸がほぼ平行となるように設計されている。

【0016】これにより、シャッター2を押した際に、その勢いでレンズ付きフィルム2の落下や、傾き、位置ずれ等が生じることを防止することができるとともに、写真撮影をする際にわざわざレンズ付きフィルム2のファインダー2cを改めて覗く必要がなくなり、ビデオカメラ本体1のファインダー1cを見るだけで写真撮影を行うことができる。

【0017】さらに、ビデオカメラの画角をレンズ付きフィルムの画角よりも少し狭くなるように設計してやれば、ビデオカメラ本体1のファインダー1cで見えてい

るものをそのまま安心して確実に写真として残すことができる。

【0018】なお、レンズ付きフィルム2をアダプター3の所定位置に装着できるように、あらかじめレンズ付きフィルム2の表面にアダプター3と当接する位置を示す目印2dを付けておくと、確実に、しかも簡単にレンズ付きフィルム2のセッティングが可能となる。

【0019】また、アダプター3をビデオカメラ本体1の所定位置に装着できるように、アダプター3とビデオカメラ本体1との係合が一義的に決まるような相互の形状を生かした構成にしておくと、例えば、録画ボタン1bを覆うことがないなど、確実に、しかも簡単にアダプター3のセッティングが可能となる。

【0020】なお、この技術思想の応用としては、録画ボタンとレンズ付きフィルムのシャッターボタンとを機械的あるいは電氣的につないで連動させ、ボタンの押し込む度合や押し込む長さに応じて、例えば、深く押し込んだときにのみシャッターが切れる等の工夫をすることにより、より確実にビデオ撮影を行いながら写真撮影も行うことが可能となる。

【0021】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、アダプターを用いるだけでレンズ付きフィルムのビデオカメラ本体への着脱が簡単にしかも確実に行えるとともに、所定位置に装着するだけで両者の光軸調整を行うことなくほぼ一致させることができるため、非常に簡単な構成で、ビデオ撮影中でも、簡単に写真撮影が行えるビデオカメラを実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のビデオカメラの一実施例の外観構成を示す分解斜視図

【符号の説明】

- 1 ビデオカメラ本体
- 1a レンズ部
- 1b 録画ボタン
- 1c ファインダー
- 1d マイク
- 2 レンズ付きフィルム
- 2a レンズ部
- 2b シャッター
- 2c ファインダー
- 3 アダプター
- 3a 載置部
- 3b 突起部
- 3c 弾性片
- 3d U字状係合部

(4)

特開平6-301096

【図1】

